



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年4月16日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ブロンコビリー

コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹市 克弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 古田 光浩

TEL 052-775-8000

四半期報告書提出予定日 平成25年4月25日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	2,731	7.4	417	5.3	419	5.3	250	20.8
24年12月期第1四半期	2,543	2.8	396	△11.7	398	△11.5	207	12.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	75.50	—
24年12月期第1四半期	62.49	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
25年12月期第1四半期	8,271	—	6,536	—	79.0	1,971.76	—	
24年12月期	7,763	—	6,372	—	82.1	1,922.31	—	

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 6,536百万円 24年12月期 6,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年12月期	—	20.00	—	28.00	48.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年12月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 8円00銭

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,360	10.9	670	1.7	680	1.8	405	0.2	122.17
通期	11,500	15.2	1,600	14.0	1,620	13.1	955	9.8	288.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	3,315,000 株	24年12月期	3,315,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	53 株	24年12月期	53 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	3,314,947 株	24年12月期1Q	3,314,976 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 1「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	1
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権下での金融緩和をはじめとする経済成長戦略への期待感から、円安・株高が進行する等、景気回復への明るい兆しが見られたものの、海外景気の下振れによる影響が懸念されるなど、依然として景気動向は不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましても、市場規模の縮小傾向に歯止めがかかりつつありますが、雇用・所得環境の先行き不安から、消費者の節約志向は強く、当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

当社では、このような環境の下「お客様の立場で顧客創造」「お客様の立場で進化と経営日本一」の企業理念に基づき、絶えず進化し続ける事によって経営内容で日本一を目標に、ご家庭では味わうことができない料理とサービスを提供する「ご馳走レストラン」として、食材の調達力、商品開発と加工力、調理技術、接客サービスの更なる強化に取り組みました。その結果、当第1四半期累計期間では、既存店売上高は前年同期比2.6%増となり、全体でも売上高前年同期比7.4%増、四半期純利益前年同期比20.8%増となりました。

メニュー政策では、価値と価格の両方を追求すべく、当第1四半期でもメニュー改訂を実施いたしました。メニューも絶えず進化することを大切に考え、ステーキ専門店としてこだわったハンバーグメニューを前期末のがんこハンバーグに続き、2月は580円(税別)のハンバーグランチを進化させました。3月も当社の看板商品のぶどう牛の肩ロースステーキを150g 1,780円(税別)でランチメニューに追加し、更にステーキのコンビメニュー(ご馳走サーロインステーキ&プレミアムブロンコステーキセット等)や人気のがんこハンバーグもトッピングのバリエーションを増やしました。これらの効果で、既存店客数は、前年同期比1.0%増、客単価は前年同期比1.5%増と売上高増に寄与いたしました。

販促面では、お食事券が当たるスクラッチカードやスタンプカード、キッズクラブのお誕生日企画に加え、卒園・卒業のお子様を対象としたDM販促により、再来店促進と顧客作りに継続して取り組みました。また、3月22日にホームページの全面リニューアルを実施し、同時にモバイル対応も行い、店舗案内ページ等をより見やすく、使いやすいデザインに変更いたしました。今後も販売促進ツールとして強化してまいります。

店舗面では、千葉県初出店となる東千葉店、更に静岡県に沼津店と計2店舗を出店、一方で不採算店舗1店舗を閉鎖し、2013年3月末日の店舗数は71店舗となりました。

また、組織機構として営業本部を新設、増加する新店を早期に軌道にのせるための新店専任のマネージャーや人材教育課も増員するなど、営業力の強化を図っております。

以上の結果、売上高27億31百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益4億17百万円(同5.3%増)、経常利益4億19百万円(同5.3%増)、四半期純利益2億50百万円(同20.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は82億71百万円(前事業年度末77億63百万円)となり5億7百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が4億17百万円及び有形固定資産が1億49百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は17億34百万円(前事業年度末13億91万円)となり3億43百万円増加いたしました。その主な要因は、買掛金が55百万円、未払金が1億53百万円及び短期借入金が1億94百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は65億36百万円(前事業年度末63億72百万円)となり1億63百万円増加し、自己資本比率は79.0%(前事業年度末82.1%)となりました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払により繰越利益剰余金が1億58百万円増加したこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年1月17日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,976,581	3,393,953
売掛金	68,333	85,557
商品及び製品	42,387	23,622
原材料及び貯蔵品	191,715	152,782
その他	217,508	167,411
流動資産合計	3,496,525	3,823,327
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,431,997	2,514,722
構築物(純額)	225,178	242,762
工具、器具及び備品(純額)	297,025	325,103
土地	276,207	276,207
その他(純額)	76,176	96,948
有形固定資産合計	3,306,586	3,455,744
無形固定資産	86,271	85,936
投資その他の資産		
差入保証金	576,608	601,730
その他	297,585	304,521
投資その他の資産合計	874,194	906,252
固定資産合計	4,267,052	4,447,933
資産合計	7,763,577	8,271,261
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,403	259,468
短期借入金	96,552	291,003
未払金	399,605	553,167
未払法人税等	323,670	173,109
賞与引当金	16,423	76,546
販売促進引当金	32,877	19,468
その他	102,506	139,472
流動負債合計	1,176,038	1,512,234
固定負債		
資産除去債務	196,042	202,228
その他	19,147	20,512
固定負債合計	215,190	222,740
負債合計	1,391,228	1,734,975

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,337	803,337
資本剰余金	713,337	713,337
利益剰余金	4,849,606	5,007,071
自己株式	△112	△112
株主資本合計	6,366,168	6,523,633
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,180	12,652
評価・換算差額等合計	6,180	12,652
純資産合計	6,372,349	6,536,286
負債純資産合計	7,763,577	8,271,261

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	2,543,939	2,731,714
売上原価	689,597	727,812
売上総利益	1,854,342	2,003,902
販売費及び一般管理費	1,457,829	1,586,476
営業利益	396,512	417,426
営業外収益		
受取利息	496	543
受取賃貸料	5,160	5,670
受取保険金	3,852	281
協賛金収入	2,124	1,938
その他	373	172
営業外収益合計	12,005	8,605
営業外費用		
支払利息	189	205
賃貸費用	4,835	5,299
盗難損失	4,021	—
その他	1,045	1,068
営業外費用合計	10,091	6,573
経常利益	398,426	419,458
特別利益		
固定資産売却益	1,000	2,000
特別利益合計	1,000	2,000
特別損失		
固定資産除売却損	201	864
災害による損失	34,891	—
特別損失合計	35,092	864
税引前四半期純利益	364,333	420,594
法人税、住民税及び事業税	156,833	167,154
法人税等調整額	357	3,155
法人税等合計	157,191	170,310
四半期純利益	207,141	250,283

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。